

こうずい しんすい そうてい く い き ず 洪水浸水想定区域図って？

洪水浸水想定区域図

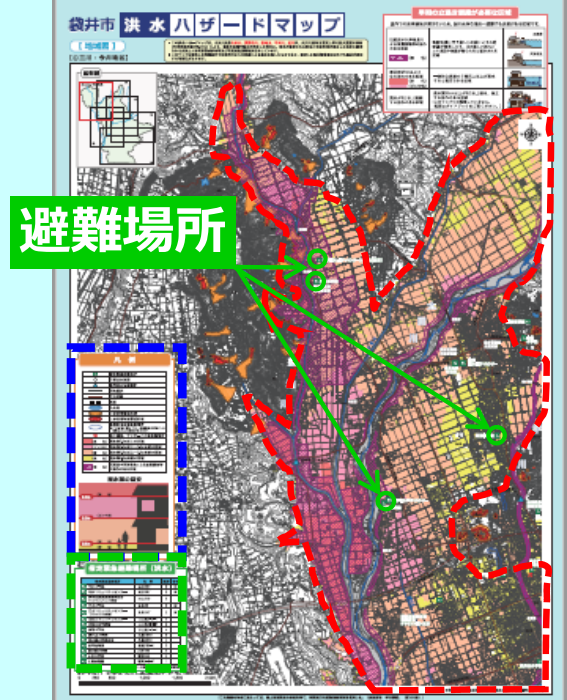
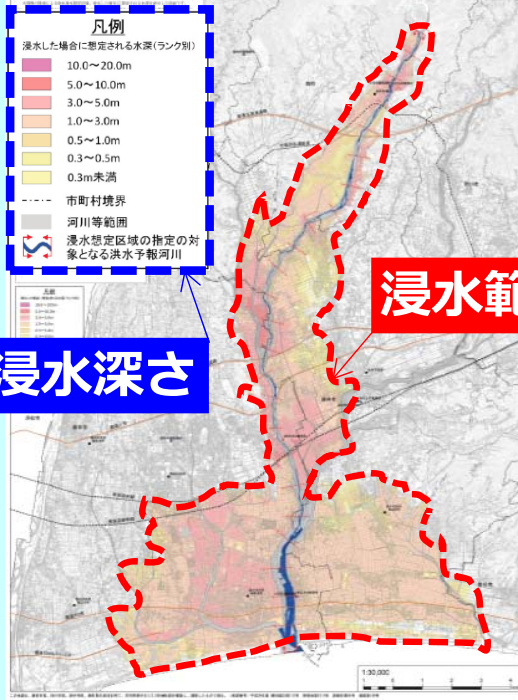
洪水ハザードマップ

大雨による洪水が起きた時
どこでどのくらい浸水するのか

避難場所・避難経路の明示
円滑な避難方法の検討 etc...

河川管理者（国・県）が作成

各市町村が作成



洪水浸水想定区域図の種類

浸水深さの目安

① 想定最大規模

浸水範囲と浸水深を規模ごとに示します。右図の配色で深さを表示しているので、屋内避難（2階以上への避難）が効果的かどうか検討してみましょう。

② 計画規模

③ 浸水継続時間

浸水してから浸水深が0.5m以下になるまでの時間を示します。長い場合は避難所に避難等を検討しましょう。

④ 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

⑤ 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）

河川の氾濫もしくは浸食で家屋が倒壊・流出する範囲を把握できます。範囲内地域の方は、家屋内での避難ではなく、避難所等への避難を検討しましょう。

2階床上浸水

3.0m

1階床上浸水

0.5m

1階床下浸水

浸水想定範囲はシミュレーションに基づく計算結果であり、洪水浸水想定区域の外の区域であっても、浸水の可能性があります。

想定される最大規模の降雨とは

- ◆想定される最大規模の降雨量については、**①地域ごとの最大降雨量**と**②1/1000年確率雨量**を比較し、大きくなる降雨量を適用しています。

①地域ごとの最大降雨量

全国を15地域に区分し、地域毎の実績最大雨量と流域面積の関係から算定した雨量

②1/1,000年確率雨量

当該流域で過去に観測された降雨データを用いて確率計算から算定した雨量



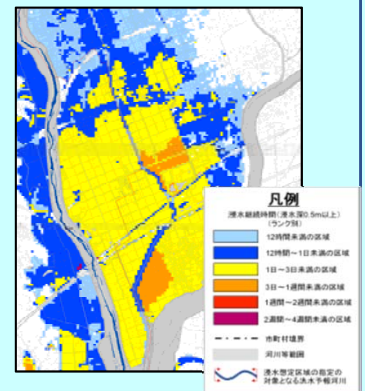
出典：水災害分野における気候変動適応策のあり方について（答申）平成27年8月【参考資料】

計画規模の降雨とは

- ◆計画規模の降雨とは**河川整備の目標とする降雨**のことで、河川毎に定めています。
- ◆静岡県が管理する河川では、概ね30年から50年に一度発生する降雨を計画規模の降雨としています。

浸水継続時間について

- ◆家屋の倒壊や水没の可能性が低い区域であっても、**浸水継続時間が長く、多数の住民が長期間にわたり孤立する恐れがある**ため、このような区域について洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）を公表します。
- ◆浸水時間が長い場所では、孤立する状態が長く続きます。安全な場所へ避難しましょう。



家屋倒壊氾濫想定区域について

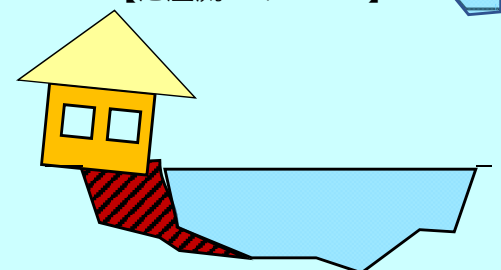
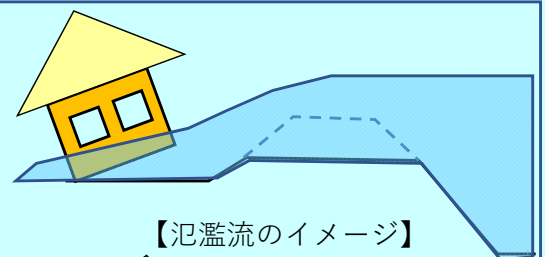
- ◆洪水時に**家屋倒壊の危険がある箇所**については、早期の立退き避難が必要となるため、**住民等が自らの判断で適切な避難を行えるよう**家屋倒壊等氾濫想定区域図を公表します。

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

堤防決壊に伴う激しい流れによる家屋の流失、深い浸水に伴い家屋にかかる力が增大して倒壊が想定される区域

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

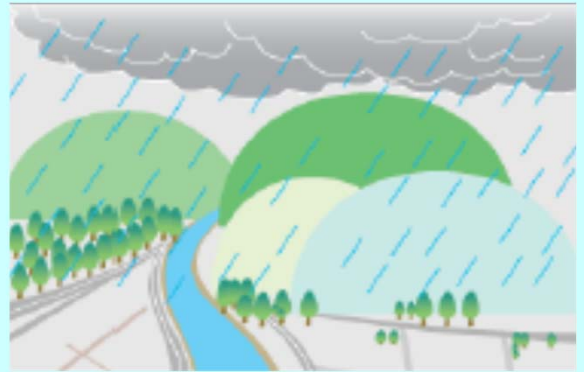
河岸侵食に伴う家屋の基礎を支える地盤の流失が想定される区域



洪水浸水想定区域図の作成手法

①大雨の設定

洪水浸水想定区域図を作成する河川ごとに、対象となる降雨を設定します。



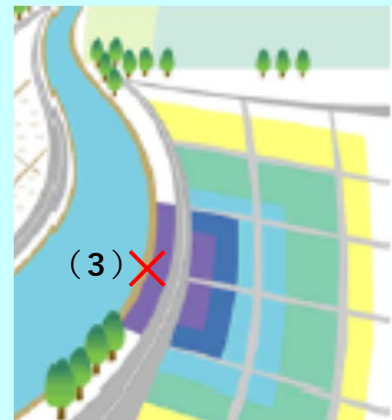
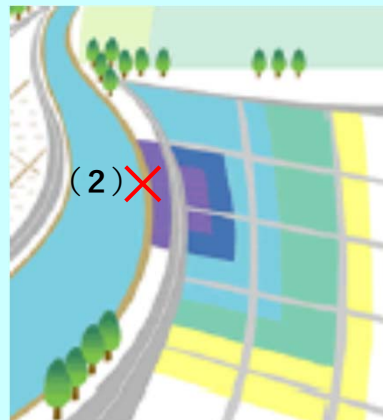
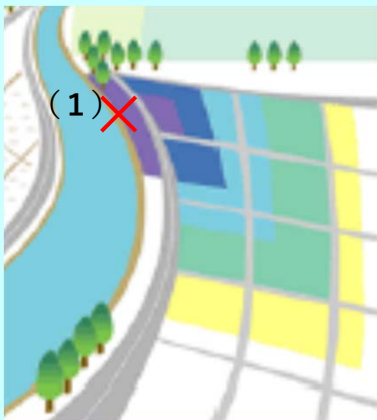
②破堤地点の設定

破堤する地点を複数個所想定します。破堤地点は、現状の地形を鑑みて、破堤したときに、被害の規模が大きくなる地点を想定しています。



③氾濫シミュレーション

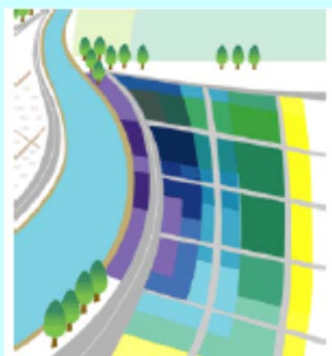
破堤地点ごとに氾濫シミュレーションを行います。



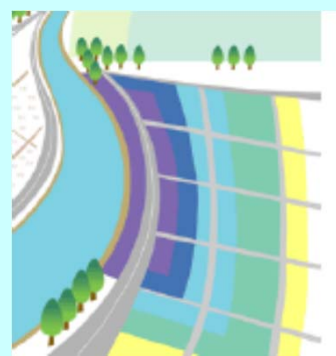
(1) の破堤に対するシミュレーション (2) の破堤に対するシミュレーション (3) の破堤に対するシミュレーション

④重ね合わせ&完成

すべての浸水想定区域図を重ね合わせます。各浸水区域の最も深い浸水深を表示します。



全ての浸水想定区域図を重ね合わせます。



各浸水区域の最も深い浸水深を表示[完成]

簡単に浸水リスクを把握できる便利なツール

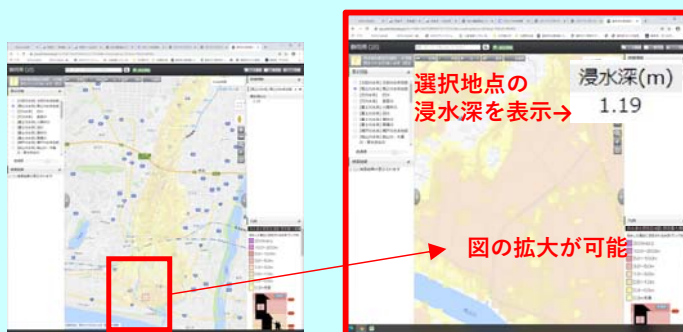
静岡県GIS

⇒洪水浸水想定区域図

静岡県GISに洪水浸水想定区域図を掲載しています。選択した地点の浸水深を表示することができ、また図面の拡大縮小が可能です。

地図を切り替えれば、洪水浸水想定区域図の他にも様々な情報を見ることが出来ます。

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=501>



ハザードマップポータルサイト

⇒自分の住む町のハザードマップ

洪水や土砂災害等のハザードマップは市町村が作成します。防災に役立つ様々なリスク情報やハザードマップを、より便利により簡単に活用できるようにするため、「ハザードマップポータルサイト」が国土交通省ホームページにて公開されています。

<https://disaporal.gsi.go.jp/>



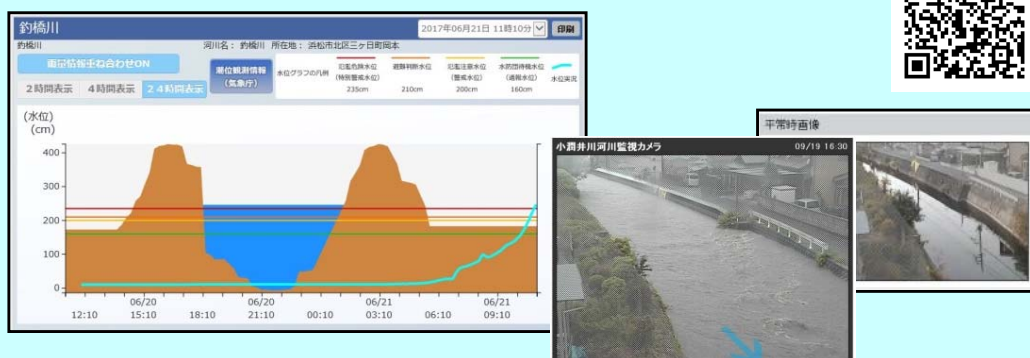
サイポスレーダー

⇒洪水時の雨量・水位グラフ、河川カメラ

県内各地に設置している雨量計や水位計の観測値を、グラフにより分かりやすく表示しています。

大雨時や台風接近時などは決して川に近づかず、こちらの情報や「ライブカメラ」で現在の状況をご確認ください。

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



お問い合わせ先

○このパンフレットに関すること

○県管理河川の洪水浸水想定区域図等に関すること

河川企画課 TEL : 054-221-3035

○サイポスレーダーに関すること

土木防災課 TEL : 054-221-2249

○静岡県GISに関すること

建設技術企画課 TEL : 054-221-2497

○ハザードマップ

各市町の防災部局